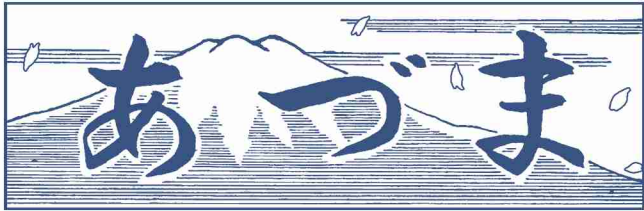


方面	春季演習場定期整備	(1面)
1師団	第1師団記念行事	(3面)
12旅団	第12旅団記念行事	(4面)
1施設団	春季演習場定期整備	(5面)
関東補処	新規採用事務官等入省式	(5面)



令和5年5月25日 第1060号

総監統率方針「強靱な東部方面隊の創造」  
総監要望事項「万事作戦を基準」

**陸上自衛隊東部方面隊広報紙**

発行所：方面総監部広報室  
住所：東京都練馬区大泉学園町  
専用線：8-37-2446



機動路を整備する第307施設隊



崩落箇所を整備する第306施設隊



側溝を整備する第4施設群



ドラム缶を運搬する第1後方支援連隊



倒木を切断する第32普通科連隊

# 「誇りとこだわり」を持って整備

方面隊は4月11日から27日までの間、東・北富士演習場において令和5年度方面隊春季演習場定期整備を実施した。

本演習場整備は第1師団長(北富士)及び第1施設団長(東富士)を担任官として、作戦遂行能力向上に資するとともに、周辺住民の安全を確保し、作戦環境を醸成すること

を目的として行われた。各演習場ではそれぞれ、の運用構想に基づき、教育訓練上のニーズに合致

した隊員・部隊の任務遂行能力向上に資する基盤を整備するため、砲迫射撃陣地の整備、部隊が前進する接近経路の新設、排水設備整備、機動路の維持・補修等を実施した。

また積極的に民生品を活用し、整備の効率化及び恒久性のある整備の促進を図った。

総監は各演習場整備の視察において、全隊員が「誇りとこだわり」をもって取り組む姿を現地で確認・激励した。また「施設団として取り組んでいるCOPの活用やUAVによる測量等をさらに発展させよ。演習場整備が如何に首都防衛作戦に繋がられるか、常にフィードバックをしながら考えることが必要」と指導した。

方面隊はわれわれの「道場」である演習場を引き続き丹精こめて整備し、より実戦的な訓練環境の構築を図る。

なお5月10日から19日までの間、相馬原・関山演習場整備を実施し、主に16MCVの視・射界確保及び路外機動展開地域の伐木を実施した。

方面隊は4月29・30日の両日、幕張メッセ(千葉県市)で開催された「ニコニコ超会議2023」を支援し、陸上自衛隊の活動、装備品等について国民の理解の促進を図った。

本イベントには陸・海・空幕広報室の他、陸自の各部隊が参加し、方面隊からは総監部及び5コ地本(茨城、埼玉、千葉、東京、神奈川)が参加した。支援内容は3自衛隊によるらっば吹奏、自衛隊体操、トークイベント、体力検定チャレンジ、匍匐前進レースを行い、各地本はブースを展開

## 一大イベント「ニコニコ超会議」を支援



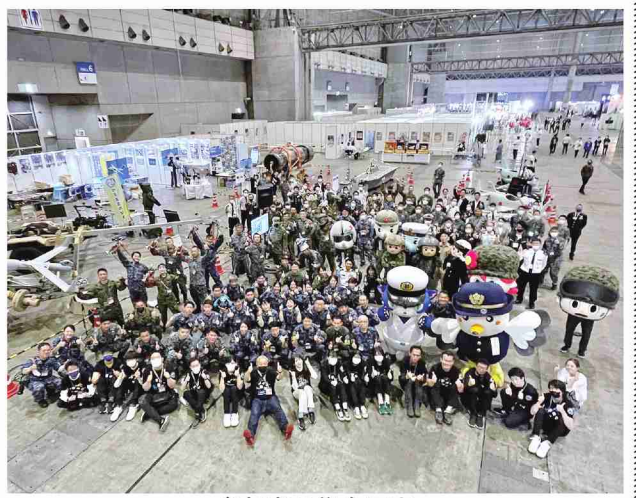
3自衛隊によるらっば吹奏(写真上)  
中方自衛隊ユーチューバーによる超自衛隊体操(写真下)



本イベントには陸・海・空幕広報室の他、陸自の各部隊が参加し、方面隊からは総監部及び5コ地本(茨城、埼玉、千葉、東京、神奈川)が参加した。支援内容は3自衛隊によるらっば吹奏、自衛隊体操、トークイベント、体力検定チャレンジ、匍匐前進レースを行い、各地本はブースを展開

し、募集対象者に自衛隊をPRするとともに、他幕、他方面隊等と連携を深めることができた。

してゆるキャラ等が自衛隊をPRした。また自衛隊のイメージを質問するアンケートをブースで行い、募集対象者約1300人を含む約2600人がアンケートに回答した。来場者からは「災害派遣などテレビで活躍する姿を見ています。これからも頑張ってください」など声援を受けることもあった。



参加者の集合写真



# 方面隊の精強化を目指し能力向上

## 第1回中隊長等集合訓練

方面隊は4月19日、朝霞駐屯地において方面直轄部隊の中隊長等約120人を対象とし、令和5年度第1回方面直轄部隊中隊長等集合訓練を実施した。

訓練は中隊長等の職務遂行能力の向上を目的として、總監訓話、識能教育、グループ討議及び部外講話を実施した。



訓示する總監



教育に臨む中隊長等

總監は訓話において、東部方面区の防衛、警備等の任務を達成するため、何事も「万全作戦を基準」として、全ての隊務を「首都防衛」の実効性と結びつける意識を持つこと。また指揮官として企画を明示し、困難を避けずに行動を起こし、隊員とともに新たなチャレンジに取り組むことを要望した。總監は続いて、諸官等の任務遂行が、東部方面隊の任務遂行、ひいては首都防衛、わが国防衛の成否に直結するとの認識の下、自覚とプライドを持つこと。その一方で片意地を張ることなく自然体で中隊長として勤務を全うせよと指導した。

識能教育では令和5年度東部方面隊業務計画の概要、教育訓練、人事制度、服務指導等に加え、行動法令に係る教育手法の普及を実施するとともに「5年先を見据えた首都防衛の実効性向上、特に中隊長等の任務遂行能力の向上のため、中隊長等

# 新規オピニオンリーダー委嘱式

## 各地域での情報発信に期待



委嘱式終了後の記念撮影



委嘱状を授与されるオピニオンリーダー

方面隊は4月11日、朝霞駐屯地において令和5年度東部方面隊オピニオンリーダー委嘱式を終了し、新規委嘱者12人全員が参加した。

新規委嘱状交付式を実施し、新規委嘱者12人全員が参加した。式に先立ち東部方面音楽隊によるクラリネット4重奏の演奏が行われた。式において推薦広報実施担当官等が陪席する中、参加者は總監から一人一人委嘱状を受け取った。

式典後の昼食会では式典の厳かな雰囲気から一転し、終始和やかな雰囲気の中で行われ、各オピニオンリーダーから自己紹介と自衛隊への思いを語られた。会食後オピニオンリーダーは、東部方面隊の活動状況に係る説明を受け、今後オピニオンリーダーとして活動するための知識を深めた。

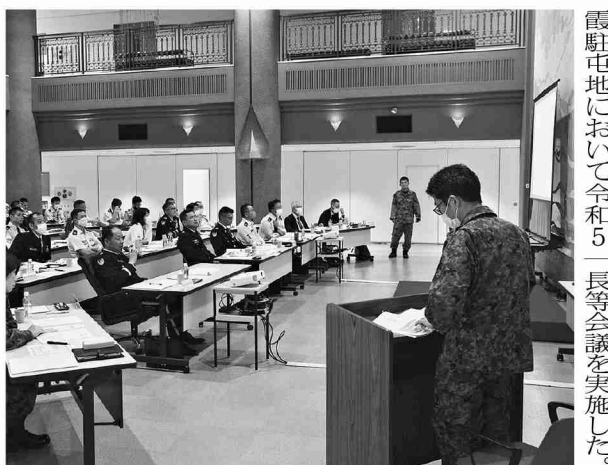
## 地方協力本部長等会議

### 募集・援護・予備自の各種業務も「作戦」

として取り組むべき事項」をテーマとしてグループ討議を実施し、首都防衛に任ずる現場指揮官

として必要な識能等を向上させた。またハラスメント防止に係る部外講話を通じ、

部隊・隊員を直接指揮・指導する中隊長としての職責の自覚及び指導能力の向上を促進した。



地本長に対する施策等の説明

方面隊は4月21日、朝霞駐屯地において令和5年度第1回地方協力本部長等会議を実施した。

本会議は總監企画の徹底及び總監部、地方協力本部等による募集・援護・予備自業務等、現況の情報共有及び施策に関する意見交換を行い、業務の円滑な実施及び即応態勢の堅持に資することを目的として、各地本長等の他、第1師団、第12旅団、東部方面混成団、海・空自衛隊、北関東防衛局の関係者等が参加し

た。内容としては總監部、内局、各幕等からの連絡事項、各地本の施策発表及び意見交換を実施した。

總監は訓示において「現場が抱える問題認識や改善意見を集約し、関係者が一丸となって改善していくことの重要性を徹底せよ。また各種活動を円滑に実施していくため、地域や部外協力団体等と良好な関係を構築してもらいたい」と述べた。

会議において、募集・援護・予備自業務の4年度の現況及び5年度の施策について認識を共有するとともに、意見交換を通じ、各地本が特に重視して取り組む事業について情報共有し、今後の業務の資を得た。

## 部隊との絆を深める

### 転入家族オリエンテーション



駐屯地の概要説明を受ける参加者

總監部は4月15日、陸上自衛隊広報センターにおいて令和5年度第1回転入家族オリエンテーションを実施した。

本施策は3月に転入した隊員家族を対象として行い、隊員家族の部隊に対する信頼感を醸成するとともに、家族間相互の交流の場を提供して新たな環境への不安感を除去することを目的としている。

オリエンテーションは当初、人事部厚生課長による趣旨説明、方面隊及び朝霞駐屯地の概要、家族向けのビデオ放映、家族支援施設・駐屯地周辺の生活環境の紹介を実施した後、陸上自衛隊広報センター内を見学して終了した。

参加者からは「参加してよかった。今後、厚生課から情報をいただきませう」等の感想があった。

## 多くの来場者がリアルな体験

### 広報センターで「募集広報の日」



フライトシミュレーターを体験する参加者



VR体験をする参加者

陸上自衛隊広報センターは4月22・23日の両日「募集広報の日」を設定し、各地本からの推薦者である中学生以上の募集対象者約140人に対して陸上自衛隊への関心と興味の促進を図り、厳しい募集状況における人的基盤の確保に寄与した。

両日ともに心地よい春の日差しの中で「新フライトシミュレーター」、「16MCV車上での記念撮影」、「VR体験」、「UH搭乗体験」の各種イベントを行った。フライトシミュレーターは中学生にとっては若干操縦が難しいようであったが「楽しかった。本物を操縦してみたい」との声が多数あった。また各種装備品を見て装着（体験）し、広報官から説明を受けた来場者は、イベントを通して自衛隊に対する理解を深めた。

広報センターは今後も募集対象者枠を設定し、募集課と連携したイベントを計画していく。



第1師団

第1師団創立61周年 練馬駐屯地創設72周年 記念行事

第1師団は4月9日、練馬駐屯地において第1師団創立61周年・練馬駐屯地創設72周年記念行事を挙行し、隊員の使命感と士気の高揚及び地域住民の理解と信頼の深化を図った。当日は天候に恵まれ、コロナ禍以降、初の入場制限なしの一般開放とし、招待者、協力者や地域住民等約9千人が来場した。

師団長は観閲部隊に対し「防衛省自衛隊は防衛力の抜本的な強化のスタートを切った。令和5年度がその節目『Turning POINT』です。首都防衛を担う第1師団の敗北は、国家主権の喪失を意味する。それは日

安全保障関連3文書の閣議決定による防衛力の抜本的強化は、国民の期待の大きさの現れである。本という国がこの世から無くなるということである。絶対に失敗は許され

また来場者に対しては「25万の自衛隊員だけで1億2千万の国民を守り

切ることではできません。国防力、国を守る力の根源は国民の意志です。ロシアのウクライナ侵攻を教訓にして、主権者である国民一人一人が、自らの主権を守り、国を守る意識に変わるTurn

記念式典に引き続き、それぞれの部隊の特性が理解容易になるよう創意工夫を凝らした部隊紹介

駐屯地営庭では高機動

ない。明日有事が起っても完璧に任務が完遂できる態勢を速やかに作っていく」と式辞を述べた。

小池都知事は「首都東京、都民・国民の生命と財産を守るため、兒玉師団長の指揮の下、強い責任感と使命感をもって、任務に精励されることを心から期待します」と祝辞を述べた。

また各種装備品がどのように機能が発揮するかについて、装備品を操作

頼もしく尊敬できます」等の感想が寄せられた。また駐屯地体育館では記念会食が和やかに行われ、行事は成功裏に終了した。



毎年、好評を得ている漫画家藤原と氏の協力を得て作成したポスター

ing POINTとすることを切に願っています」と式辞を述べた。

第1偵察戦闘大隊の16式機動戦闘車による迫力ある空包射撃、第1普通科連隊による迫力あるヘリボンからの敵の撃滅掃討などが展示され、来場者からどよめきと大きな拍手が沸き起こった。

災害時における人命救助活動の一連の行動を模擬する自衛隊体験が行われた。体験に参加した来場者からは「隊員の大変さを身をもって体験することができました。本当に頼もしく尊敬できます」等の感想が寄せられた。

TURNING POINT ~歴史的な転換点に立つ~



第1師団の決意を隊員とともに述べる師団長

令和5年度第1回中隊長等集合訓練

師団長の企図の徹底

師団は4月11日、練馬駐屯地において中隊長等に対し、令和5年度第1回師団中隊長等集合訓練を実施した。本訓練では師団長の企



師団長訓示



グループ討議

図の徹底を図るとともに、首都機能の維持に係る任務を完遂し得る中隊長等の育成に必要な中隊長等の識能の向上を図った。本訓練では師団長の企

務を完遂できる即応態勢に係る心構えを隊員に培

体で議論し、教育訓練の重要性を隊員に説明して使命感をもって任務や訓練に向かわせることの大

戦没者の冥福を祈念

第34普通科連隊は3月25日、硫黄島（東京都小笠原村）において日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式に旗衛隊として参加した。

大東亜戦争末期の激戦地・硫黄島における日米両国の散華された英霊を慰霊し、日米の友好と恒久平和を祈念するため、日米再会記念碑前にて、



日米両国の旗衛隊



師団長・都知事による巡閲



執行者・都知事入場時の行進儀じよう



16式機動戦闘車の空包射撃



UH-1から降下する1普連隊員



盛大に行われた記念会食

師団火力調整部新編

師団は3月16日、練馬駐屯地において師団司令部に新編された火力調整部の新編行事を実施した。火力調整部は東部方面特科連隊の新編により、師団火力の骨幹たる第1特科隊が廃止されたことに伴い新編された。今後、防衛及び警備の実施に関する火力運用の見積・計画を担担する部署となる。

師団長は「一部の名称の通りの火力の調整だけでなく、真に火力が発揮され師団の任務が完遂できるよう態勢を整えてほしい」と訓示した。



火力調整部6人ここに編成完結

師団ドローン集合訓練 有事の運用能力の向上を図る



ドローン操作を練成する隊員

師団は4月11日から14日までの間、練馬駐屯地等において師団隷下のドローン保有部隊に対し集合訓練を実施した。本訓練では航空法等の関連法規・法令、航空写真判読など知識の習得、真判読など知識の習得、事故・墜落事案及び情報保証事案の教育を実施するとともに、各種災害時に地上からの接近が困難な地域の被害状況の把握などの情報収集に必要なドローンの操作技術(写真)の練成を図った。特に操作技術では、一般社団法人日本UAS産業振興協会から講師を招き、体育館において遮光処置を実施して夜間における飛行操作を演練した。またドローン等で収集した映像情報を指揮所等に伝達する映像伝送装置の操作要領及び報告要領について演練し、有事におけるドローン及び映像伝送装置の運用能力の向上を図った。



### 第12旅団

# 4年ぶりの一般開放

## 第12旅団創立22周年 相馬原駐屯地創設64周年 記念行事



観閲式に臨む第12旅団隷下部隊と相馬原駐屯地所在部隊

第12旅団は4月8日、相馬原駐屯地及び相馬原飛行場において、第12旅団創立22周年及び相馬原駐屯地創設64周年記念行事を挙

事を行った。なお昨年は記念行事を部内行事として実施したが、今年4年ぶりに一般開放とし、国会議員、地元首長、4県(群馬・栃木・新潟・長野)の自衛隊協力団体などの来賓に加え、隊員家族や一般来場者を合わせて約8千人が会場に訪れた。

観閲式では旅団隷下部隊と相馬原駐屯地所在部隊が飛行場エプロンに整列し、人員608人、車両130両、航空機3機が来場者の前で威容を示した。執行者の旅団長は巡閲の後「第12旅団は陸上自衛隊で唯一の空中機動力を強化された作戦基

本部隊であるとともに、先般の改編により広域な地域における情報収集力、地上機動力が強化され、さまざまな事態に

し、より迅速かつ柔軟に対応することが期待されている。その崇高な使命を完遂するためには、い

つ如何なる時でも、あらゆる任務に対応し得る即応態勢を保持することも、平素からの厳しい訓練を通じて「即応力の強化」と「安全の確保、健全性の保持」が必要不可欠であり、旅団長として全隊員の先頭に立ち、その使命を完遂すべく全身全霊で臨む覚悟である(要旨)と式辞を述べた。

観閲行進、訓練展示は諸事情により中止となったが、その後に会場では装備品展示や高機動車による体験試乗が行われ、訪れた家族連れで大いに賑わった。



観閲式において巡閲する旅団長



家族連れで賑わった装備品展示会場



ラオス軍との調整会議

### 30普連 ラオス人民共和国で 能力構築支援

第30普通科連隊は3月1日から9日までの間、ラオス人民共和国バクセーにおいて、ラオス軍への能力構築支援を実施した。

本支援は同軍災害緊急対応チーム基幹要員が行う同軍被教育者に対する訓練の実施要領等に関する指導及び助言を行い、同軍の災害対処能力の向上及び自立的かつ主体的な取組みの推進に寄与するために、人命救助器材の取扱い、ロ

プワーク、搜索救助要領、患者搬送要領、トリ

アージ優先者に対する緊急処置訓練の確認・指導を行った。

訓練に参加した同連隊の山田2尉は「ラオス軍教官・学生の、教育への意気込みや熱意に驚かされました。ラオス軍の台風や大雨による風水害対応能力向上に貢献できて良かった」と語った。

### 桜舞う中、1万人が来場 新町駐屯地創設72周年記念行事



式辞を述べる新町駐屯地司令



16式機動戦闘車による訓練展示

新町駐屯地は4月1日、新町駐屯地において新町駐屯地創設72周年記念行事を行った。記念行事においては観閲式、訓練展示、音楽演奏、装備品展示、車両の体験試乗等が行われた。この日は天候にも恵まれ、4年ぶりに駐屯地を一般開放しての記念行事となり、約1万人の来場者が訪れた。



3位に輝いた13普連チーム

併せて1日・2日の両日、駐屯地を開放して開催された「第33回しんまち桜まつり」にも大勢の来場者が訪れ、今回の各行事を通じて駐屯地に対する一層の理解と信頼強化を図ることができた。

### 13普連 団体戦3位と大健闘 全自拳法選手権大会で躍動

第13普通科連隊は3月5日・6日の両日、航空自衛隊入間基地で行われた第38回全自衛隊拳法選手権大会に出場し、団体戦の部で第3位の成績を収めた。

同大会は各方面の予選でベスト8以上となった部隊のみが出場し、陸海、空の各自衛隊部隊等の46コチームが参加した。

今大会よりルールが改正され、団体戦は重量階級別5人1組の対戦となり、各階級でバランスよく選手が所在していた同連隊は強豪チームとの闘いにおいて善戦し、結果は目標としていたベスト

16を上回る第3位を勝ち取ることができた。

同連隊拳法訓練隊の監督を務めた瀬野2曹は「来年に向け、転地訓練や課業外も活用し練成を重ねていきたい」と意気込みを語った。

## 希望を胸に83人が着隊

## 各駐屯地で自衛官候補生教育始まる



執銃時の基本教練(松本駐屯地)



入隊式に臨む自候生(新発田駐屯地)

旅団隷下各駐屯地では令和5年度の自衛官候補生教育を編成し、3月下旬から逐次自衛官候補生の受け入れを行い、入隊式を経て課程教育を開始した。今年度は新町駐屯地(第12後方支援隊)、高田駐屯地(第2普通科連隊)、新発田駐屯地(第30普通科連隊)、松本駐屯地(第13普通科連隊)に、計83人の自候生が着隊した。



緊張の武器授与式(高田駐屯地)



区隊旗を受け取る自候生(新町駐屯地)



第1施設団

# 春季東富士演習場定期整備

## 「演習場は我々の道場、各種教育訓練の基盤」

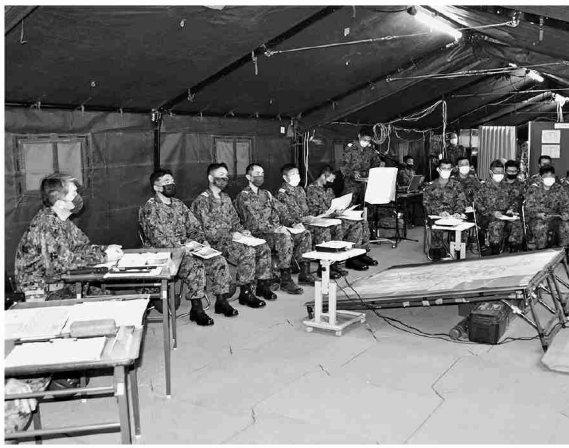
施設団は4月11日から20日までの間、令和5年度春季東富士演習場定期整備を担任・実施した。本整備の実施に当たり施設団と方面区内の各部隊から、人員約1600人・車両等約1900両による東富士演習場定期整備を担任・実施した。

整備開始に先立ち行われた指揮官会議の場において「演習場整備の目的は方面演習場等運用・整備構想に基づき、効果的かつ効率的な整備を実施し、作戦遂行能力向上に資する演習場の最適化に寄与することである」と訓示した。また、下の各整備部隊長には「工事管理の徹底」「特に質の高い工事の追求」「指揮の要訣の実践」「安全管理・健康管理の徹底」の3点を要望した。

整備部隊はそれぞれ自主性をもって工事に臨み、創意を尽くして定められた期間内に所望の任務を完了した。13日、整備隊は総監の視察を受け、方面施設としての高い施設技術を発



戦車道の改修 D-Box設置



指揮官会議において訓示する施設団長



崩壊部の補修のための布団籠設置



総監に対する報告



自衛隊の概要説明



基本教練

当日は気温が4月には珍しく25度を超える夏日となり、参加した企業の新入社員は、強い日差しの下、汗をにじませながら屋外での研修に取組んでいた。

### 隊内生活体験 自衛隊への理解を促進

施設団は4月20日、茨城県内にある企業2社の新入社員に対して隊内生活体験を支援した。隊内生活体験支援は新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から中止となっていたため、3年ぶりの実施となった。本体験支援では陸上自衛隊の概要説明のほか、団体行動や協力の重要性を理解してもらうため、基本教練、救急法等を実施した。

## 陸曹目指す隊員が集結 1次突破へ力を尽くす



学科試験に臨む受験隊員



一斉に走り出す受験隊員

本試験は終了申告をもって全日程を終えたが、受験隊員は来る2次試験（分隊教練及び面接）に向けて、気を緩めることなく練習に励んでいた。

関東処は4月6日、霞ヶ浦駐屯地において令和5年度前期陸曹候補生選抜1次試験を実施した。本処及び各支処等の受験資格を持つ隊員は、担任官に対し講堂で開始申告を実施したのち、1次試験に臨み、合格を目指して試験に臨んだ。午前中に行われた筆記試験では、一般教養及び職務（自衛隊法、服務、戦闘行動等）からの出題となっている。机に向かう受験隊員からは気迫が感じられた。午後の体力検定（腕立て伏せ、腹筋及び3千メートル走）では、日頃の体力錬成の成果を存分に発揮することで、応援に駆け付けた隊員らの声援にも応えていた。



サービスの宣誓を実施する新規採用事務官等

## 新着任者教育 処勤務共通事項等を教育



霞ヶ浦海軍航空隊のパノラマを研修する被教育者

関東処は3月28日及び4月14日、霞ヶ浦駐屯地において令和5年度第1回新着任者教育を実施した。教育はテレビ会議システム（VTC）で各支処等の中継され、教官は新着任者に対し関東処の任務や編成、各種計画及び特別勤務の概要等、処勤務共通事項を教育して新着任者が抱える不安の払拭に務めた。また、処長が訓示を行い、企図の徹底を図った。後段には広報センター研修が行われ、霞ヶ浦海軍航空隊等、地域及び駐屯地の歴史教育も併せて実施された。



先導する小型トラック

### 先導等で運営に貢献 マラソン大会へ支援行う

01全般支援隊及び第103補給大隊から21人の隊員を派遣し、大会運営を支援した。隊員は大会運営関係者と連携を図りながら、小型トラック及び業務車を用いた選手団先導や審判員輸送、各定点における給水支援を実施した。駐屯地は本支援により大会運営に貢献するとともに、地域住民との信頼関係の構築を図ることができた。



関東処は4月3日、本処及び古河・用賀・吉井各支処において令和5年度新規採用事務官等20人の入省式を、それぞれの駐（分）屯地で行った。

関東処は4月3日、本処及び古河・用賀・吉井各支処において令和5年度新規採用事務官等20人の入省式を、それぞれの駐（分）屯地で行った。入省式では15人の新規採用者が入省式に参加し、式典会場では国歌静聴、処長からの辞令書交付の後、新規採用事務官等は緊張した面持ちながらも力強くサービスの宣誓を行った。

### 関東補給処

## 新規採用事務官等が着隊 決意を胸にサービスの宣誓

また防衛大臣からの訓示（ビデオメッセージ）を受け、防衛省職員としての職責を改めて自覚した隊員がうかがえた。式の最後に処長が「防衛省・陸上自衛隊の一員として、『誇りと情熱をもって部隊・隊員のために、明るく楽しく前向きに職務にまい進せよ。また社会人として『個人の成長と活躍に注目し、その原動力となるよう、たゆまぬ努力に期待する』（要旨）」と訓示を述べた。新規採用事務官等の今後の成長と活躍に注目したい。

霞ヶ浦駐屯地公式ホームページ  
<https://www.mod.go.jp/gsd/eae/eadep>  
Twitter  
フォロワー募集中!!  
陸上自衛隊 霞ヶ浦駐屯地 公式  
@CampKasumigaura



# 後支隊創隊21周年記念行事 記念式典、訓練展示等行う



記念式典の様子



感謝状贈呈式後の記念撮影

東部方面後方支援隊は4月22日、創隊21周年記念行事として、感謝状贈呈式、記念式典、訓練展示及び記念会食を挙げた。

OB会の2人に対し、隊長より感謝状を贈呈し、感謝の意を表した。また記念式典は、18コ

市街地における車両の回収訓練を展示・紹介し、後方支援隊の任務に対する理解を深化させた。

## 立川駐屯地 職場の理解促進と 隊員家族相互の親睦を図る

立川駐屯地は3月25日から4月2日の間(週末)



桜の下で団らんする家族



花の植え付け体験をする親子

相互の親和を目的として「家族の日」を開催した。多くの家族が分散して参加できるよう週末に駐屯地を開放した。

月1日は穏やかな天候と満開の桜が文字通りの花を添えた。営庭で家族ごと持参した弁当を食べたり、史料館で駐屯地の歴史を見学、展示機近くでは操縦士気分を撮影したり、金魚へのエサやりをするなど、ゆったりと家族の団らん及び隊員同士の交流を楽しんだ。

# ようこそ陸上自衛隊へ 117教大で新隊員教育が始動 システム通信群



申告を行う新隊員(第117教育大隊)



入隊式の様子(第117教育大隊)



家族との記念撮影(東部方面システム通信群)



同期との記念撮影(東部方面システム通信群)

## 混成団

第117教育大隊は4月8日、武山駐屯地において、東部方面混成団長立会のもと、第20期一般隊員候補生課程(前期)

大切に「2点を要望し、3カ月後の大きく成長した姿を見られることを期待する」と式辞を述べ、新隊員の入隊を祝した。

元気のある力強い申告、宣誓を実施した。自衛官として、これから3カ月間にわたり教育に励む姿勢と覚悟が伝わってきた。

## シ通信群

東部方面システム通信群は4月9日、朝霞駐屯地において群OB会長ご臨席のもと令和5年度自衛官候補生入隊式を挙

同期と力を合わせて訓練に立ち向かうよう「明るく元気にたくましく」同期の絆を大切に「2点を要望した。







# 最先任 上級曹長

## 「融和団結」

### 第13普通科連隊

#### 宮下 大史 准陸尉

この度、令和5年3月13日付で第13普通科連隊第8代最先任上級曹長を拝命した宮下准尉です。

出身は長野県戸倉町（現在の千曲市）で、昭和62年3月に第1普通科連隊に入隊後、長野地方

協力本部、13普通、松本駐屯地業務隊、令和4年3月より13普通で勤務しています。

私が所属する13普通は、長野県の郷土部隊として四方を急峻な山々に囲まれた松本の地に駐屯

しており、今年で創設73周年を迎える伝統と歴史

のある部隊で、古くから「山岳部隊」としてその

名を全国に轟かせています。

このような部隊で、最先任上級曹長に当

ることは、責任が重く、プレッシャーも大きいと感じています。



「融和団結」を目標に掲げました。これは准曹士一人一人が打ち解けて親しくなり、決して慣れ合いではなく、111を2では無く、4、8、10になるためにどうすれば良いか、みんなで切磋琢磨できる環境を作っているからです。

そして連隊長要望事項「指揮の要訣の実践」「組織力」「プロ意識」を具現化するため、各中隊の先任上級曹長と連携を図りながら、隊員一人一人の能力を最大限に発揮させられるように、全力で頑張りたいと思います。

# 「振袖り合うも多生の縁」 第34普通科連隊 向山 千尋 陸士長

東日本大震災で災害派遣の現場をテレビで見、「私も人を助ける仕事したい」と思い入隊しました。

Q2・普通科を選んだ理由は？

希望しました。

Q3・普段の業務は？

Q4・休日の過ごし方は？

Q5・今後の目標は？

Q2・普段の業務とその魅力はなんですか？

仕事の魅力としては戦闘規模の指揮所訓練の支援業務を行う事で、戦闘団全体の戦闘行動を知ることができるとです。また他職種との部隊と

支援業務を通じて接することで自分の職種以外の戦闘行動を知ることができると魅力です。

Q3・趣味は何ですか？

Q4・今後の目標は？

今月のフェアレディは、第34普通科連隊重迫撃砲中隊所属の向山千尋陸士長です。

長野県辰野町出身の向山士長は、趣味は歌うことと社交ダンスを得意とする21歳。令和2年3月に入隊し教育終了後、重迫撃砲中隊に配属となり、無線通信手として訓練に励んでいます。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？



今月の東方男児は、東部方面指揮所訓練支援隊の川田2曹です。川田2曹は平成18年に入隊し、第1普通科連隊で訓練に励み、令和4年3月から東部方面指揮所訓練支援隊統裁支援班に配置となり、對抗部隊運用陸曹として勤務しています。

Q1・入隊の動機は何で



し、ゴルフ、麺作り、日曜大工、旅行など、体を動かすこと、物を作ること、食べることが好きなので休日はアクティブに過ごしています。最近特にゴルフにのめり込んでおり「スコア90切り」を目標に日々練習を実施中です。

「即応予備自衛官」として国防に対する高い意識を保持し、現在の職業との両立を図り、引き続き責務を全うしていきたい」と力強く語る。

第4中隊（招集駐屯地・習志野）に所属する我那覇即応予備士長は、バナナボート、マープル、SUPなどと呼ばれるマリンスポーツ全般を運営する「合同会社SUNBOX（沖縄県南城市）」で勤務している。

仕事内容としてはジェットスキーの操縦の他、軽食販売や受付業務などを行っている。

令和4年3月か

「即応予備自衛官」として国防に対する高い意識を保持し、現在の職業との両立を図り、引き続き責務を全うしていきたい」と力強く語る。

第4中隊（招集駐屯地・習志野）に所属する我那覇即応予備士長は、バナナボート、マープル、SUPなどと呼ばれるマリンスポーツ全般を運営する「合同会社SUNBOX（沖縄県南城市）」で勤務している。

仕事内容としてはジェットスキーの操縦の他、軽食販売や受付業務などを行っている。

令和4年3月か



ジェットスキーを運転する我那覇士長(右)

### 編集後記

5月のこの時期、出勤が億劫になり「5月病」に陥る隊員は少なくないだろう。今年は9連休等が取得できたり、新型コロナウイルス移行と重なって生活が変わる影響もあり、これまでと違う5月病になるかもしれないこと。

やる気が出ない、頭痛やいらするなどの症状が出る5月病、一般調査では55%がなったことがあると自覚し、仕事を休んだ経験のある人は46%もいるそうだ。

5月病は人間関係が苦手、完璧主義といった人に多い傾向があるらしい。新しい環境に適応しようともがき、疲弊した末に陥るのだろうか。ではどう対処すればよいか。私の座右の銘は「なるようになる」。物事は自然のなりゆきに従うもの、人為でどうこうなるものではない。であり、そのように考える。そうすれば「余計な悩みが減る」「緊張が和らぐ」などストレスが減る効果があり、余裕が生まれてより楽しく生きられる気がする。是非実践してみようか。

「即応予備自衛官」として国防に対する高い意識を保持し、現在の職業との両立を図り、引き続き責務を全うしていきたい」と力強く語る。

第4中隊（招集駐屯地・習志野）に所属する我那覇即応予備士長は、バナナボート、マープル、SUPなどと呼ばれるマリンスポーツ全般を運営する「合同会社SUNBOX（沖縄県南城市）」で勤務している。

仕事内容としてはジェットスキーの操縦の他、軽食販売や受付業務などを行っている。

令和4年3月か